
誰かのために、己のために・・・愛するもののために

秋槻怜耶

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

誰かのために、己のために・・・愛するもののために

【Nコード】

N8176L

【作者名】

秋槻怜耶

【あらすじ】

愛するものをなくした。

他人から見たら、幸せとは無縁のような生活だったけど、俺と彼女たちの生活は俺たちにとって間違いなく幸せだった。

だから、今度は人のために在ろうとした。

自分ではなく、他人の幸せのために・・・

もう何も失いたくなかった

もうこれ以上失いたくなかった

だから決めたはずだった

もう何も大切なものなんてもたないと

幸せになることのできる世界をつくるんだ

俺はいいんだ

確かに悲しい別れだったけど、彼女たちと過ごした日々は間違いなく俺の中で幸せと呼べるものだったから
きっと彼女たちも幸せだったと思うから

確かに、救いはなかったかも知れない
でも・・・いいだ・・・

その分誰かが幸せになる世界を作れたら、きっと彼女たちは喜んでくれるから

そう思っていたのに・・・

思っているのに・・・

「どうしてっ!!どうしてっ、俺には力がないんだっ!!!」

何で、目の前で傷ついた奴一人助けることが出来ないんだ!!!」

「そんな、泣きそうな顔をしないで・・・

これはアナタのせいじゃないわ

ごめんなさい

私が弱いから

弱いのに、アナタについて来てしまったから……」

「もうしゃべるなっ」

彼女との初めての口づけは血の味がした

「ごめんなさい」

「謝るなっ！！頼むから……謝るな……」

「ごめんなさい」

悲しむアナタを見て、喜ぶ私がいるの」

彼女の手が頬に触れる

「ごめんなさい」

アナタの心が傷つくたびに、私が刻まれて行くようで嬉しいの」

彼女の唇が半月のようにゆがむ

「ごめんなさい」

アナタなら許してくれると思ってる、悪い女なの」

頬に触れた手が、俺から離れた

「……俺は……優しい人間じゃ……ない……」

だから……君を許せない……」

……だから……死ぬなっ！！！！

入って来ちまったんだ、勝手に出てくなんて許さないからな！！

この世界に救いはあるのか？
俺に幸せな世界が作れるのか？
これ以上・・・俺はもう・・・

ごめん、みんな

出来なかった
彼女たちが愛してくれた、この命を
彼女たちが望んでくれた、この命を
無駄にするなんて、俺には出来なかった

ごめん、みんな
もう少しだけ待っててくれないか？
あと少し

頑張ってみたいんだ
そうしたら、きっと変えられるかもしれないから

また、挫折するかも知れない
俺は弱いから

また、他の娘に惚れるかも知れない
俺惚れっぽいから
また、その娘を失うかも知れない
でも、諦めない

この命がある限り
この命はみんなとの誓いだから
この命がみんなとの絆だから

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n8176/>

誰かのために、己のために・・・愛するもののために

2010年10月14日18時24分発行